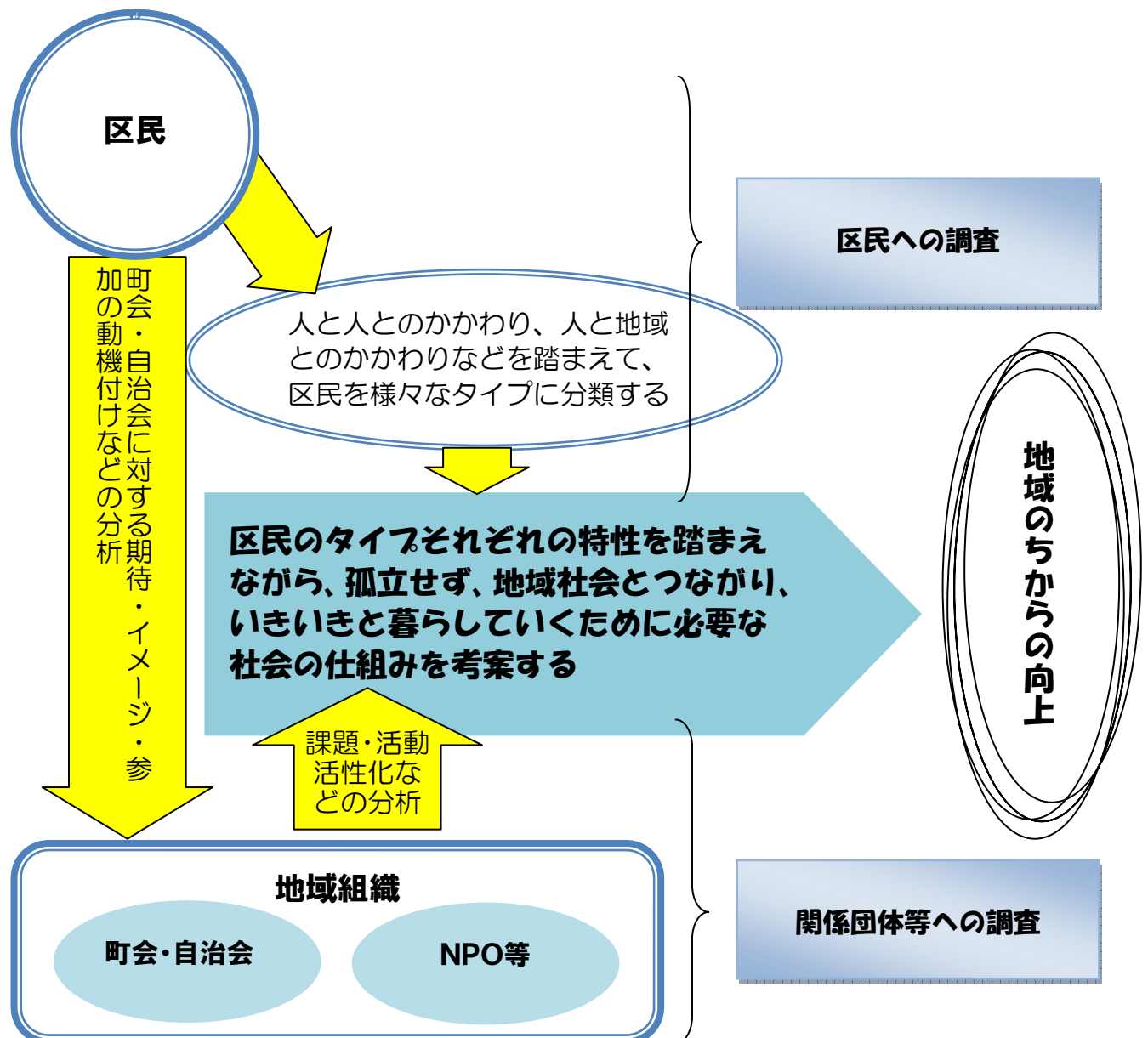


調査の目的

- ・ 区民の地域や人とのつながりに対する「意識」及び「実態」を把握する。
- ・ 区民の町会・自治会に対する「期待」「加入実態」「未加入理由」を把握する。
- ・ 区民の地域活動に向けた「意識」を把握し、区民が孤立せず、地域社会とつながるしくみを作るために、区民をタイプ別に分析する。
- ・ 町会・自治会の「課題」を把握し、活動や加入促進のための「方策」を考察する。
- ・ 町会・自治会とNPO等の連携の「実態」と「課題」を把握する。
- ・ NPO等の町会・自治会への「協力の意向」を把握する。

※上記の結果を踏まえて、「区民」「町会・自治会」「NPO等」が連携協力して、地域のちからを向上する社会の仕組みを考案する。



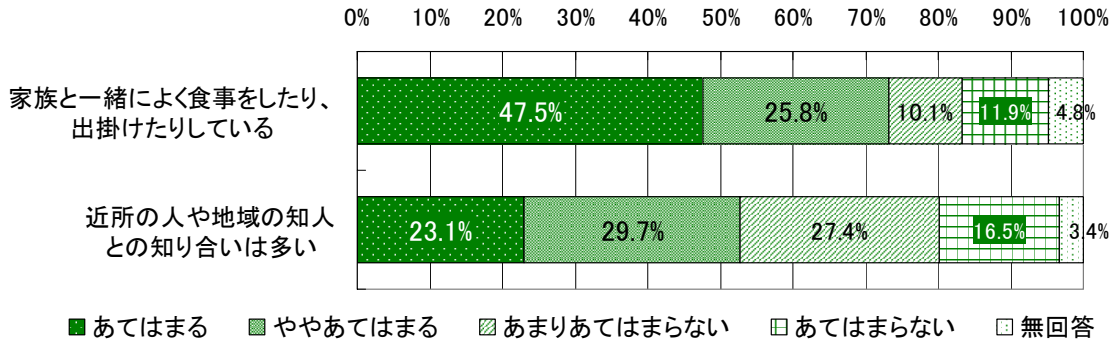
1. 区民への調査

アンケート調査とグループインタビュー調査による主な結果は、以下の通りです。

家族縁、地縁を大切にしている傾向があります。

区民は、家族との付き合いの次に、近所・地域に知人が多い傾向にあることがわかりました。

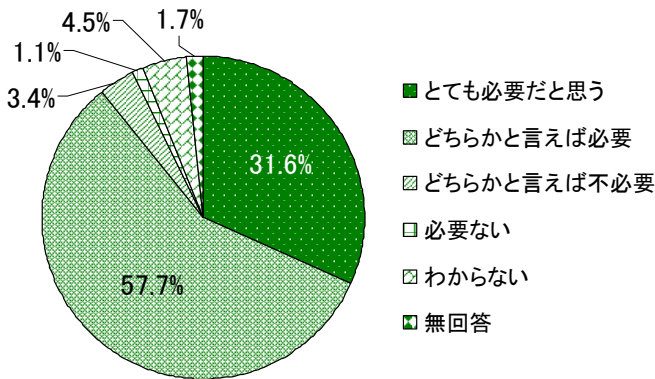
家族や近所の人との関係性について



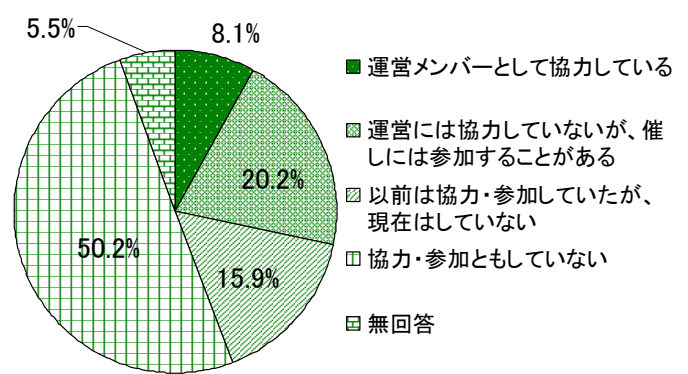
改めて区民に、地縁の重要性、地域活動の重要性が認識されています。

地域とのつながりの必要性を感じている人は9割近くおり、地縁の重要性が改めて認識されました。また、何らかの地域活動が大切だと感じている人も9割以上いることから、地域活動の重要性を認識している区民が多くいることがわかりました。

暮らしの中で地域のつながりは必要だと思うか



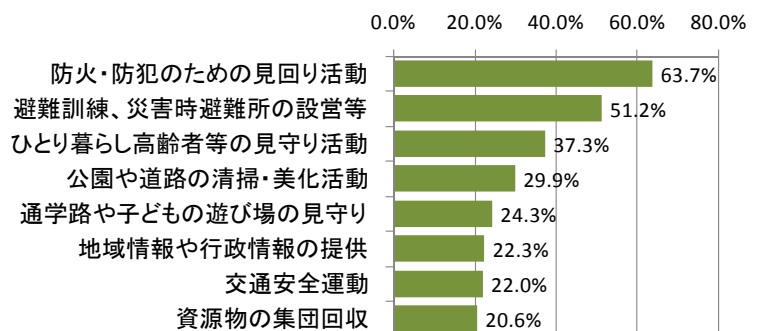
地域活動に協力または参加しているか



区民には、防災や高齢者の見守りなどの地域活動が大切だと認識されています。

「防火・防犯のための見回り活動」、「避難訓練、災害時の避難所設営・運営」、「独居高齢者等の見守り活動」を大切な地域活動として挙げている区民が多いことがわかりました。

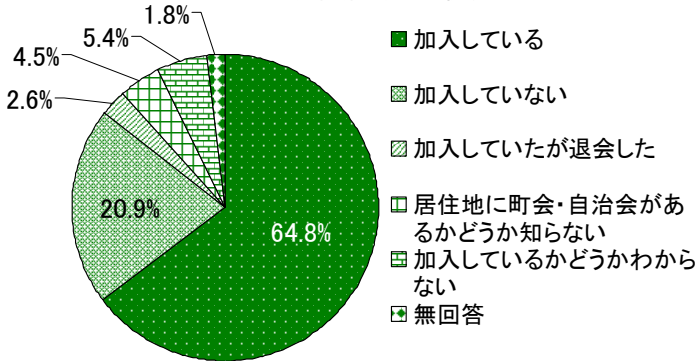
大切だと思う地域活動



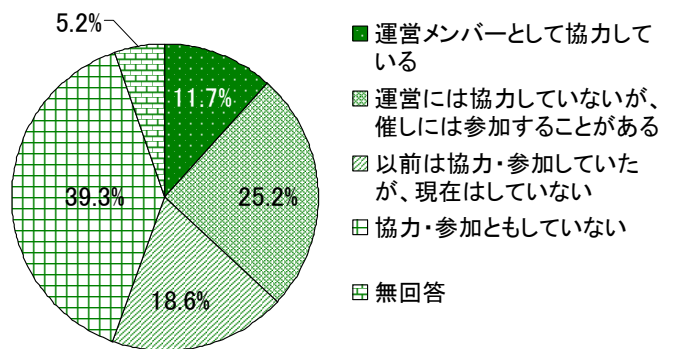
町会・自治会へ加入していても、活動に参加しない方が多くいます。

町会・自治会に加入していると回答した人は、約65%に及びましたが、そのうち4割弱の方が、地域活動に参加・協力していないことがわかりました。

町会・自治会加入状況



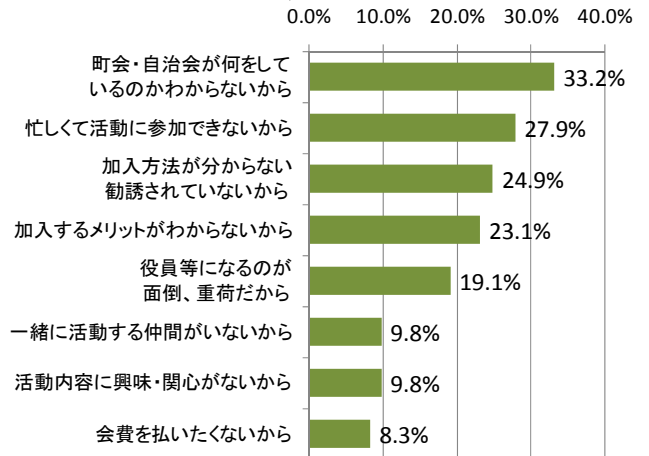
町会・自治会加入者の地域活動参加状況



町会・自治会が何をしているのかわからないことが、非加入の主な理由です。

町会・自治会に加入していない理由は、「町会・自治会が何をしているのかわからない」が最も多く、3人に1人の割合でいることがわかりました。

町会・自治会非加入・退会理由



2. 地域組織等への調査

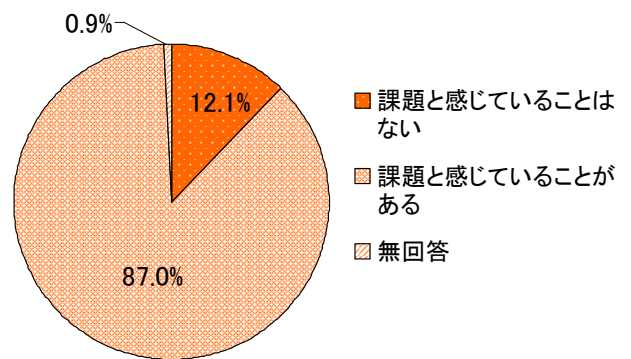
町会・自治会及びNPO等へのアンケート調査及びヒアリング調査による主な結果は、以下の通りです。

(1) 町会・自治会への調査

町会・自治会の9割近くが課題を感じています。

町会・自治会の87%が、会の運営上の課題を認識しています。

町会・自治会の運営上の課題認識

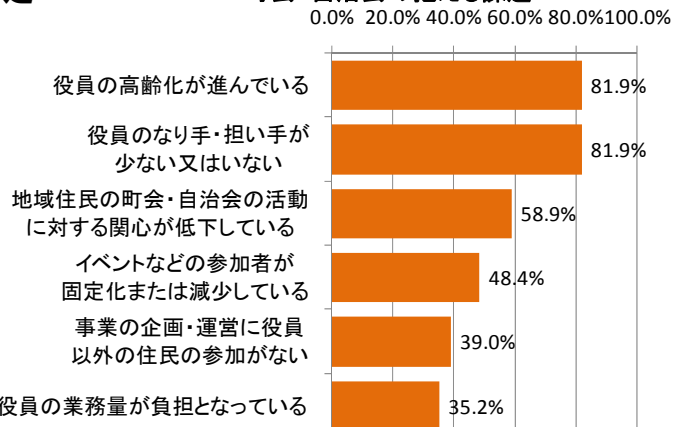


町会・自治会では、役員の高齢化、役員のなり手不足などの課題を抱えています。

課題としては、役員の高齢化、役員のなり手が少ない、またはいない、地域住民の関心の低下などが挙げられました。

また、集合住宅では、独居高齢者などの見守り・支援が課題となっているなど、町会・自治会のタイプによって課題が異なる結果となりました。

町会・自治会の抱える課題



町会・自治会では、今後、防災に関連する活動に力を入れていきたいと感じています。

今後力を入れていきたい活動として最も多かったのは、「避難所運営会議」であり、「自主防災・防災訓練」も多い結果となりました。

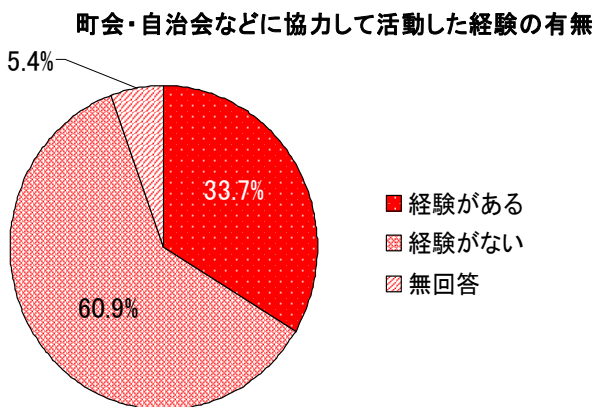
助成金の増額などの支援を求める町会・自治会が多いです。

助成金の増額や、行政からの依頼事項の簡素化・縮減といった配慮を求める声が多くありました。

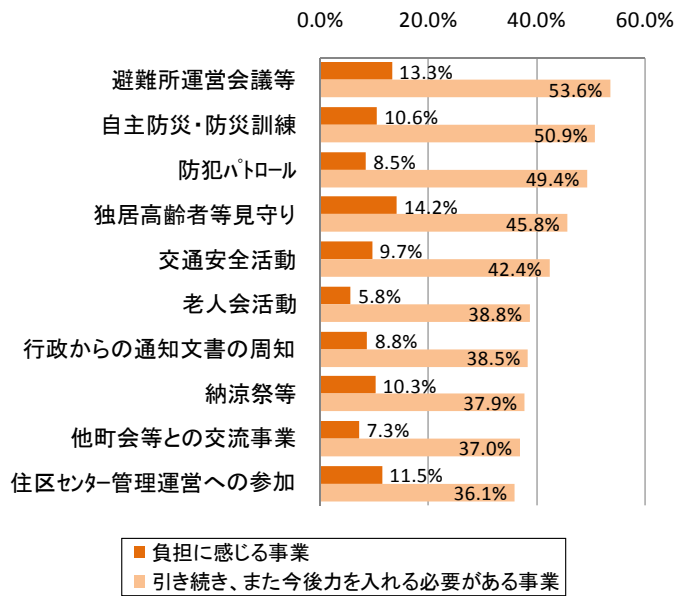
(2)NPO等への調査

3割強のNPO等が、町会・自治会などと協力しあって活動を行った経験があります。

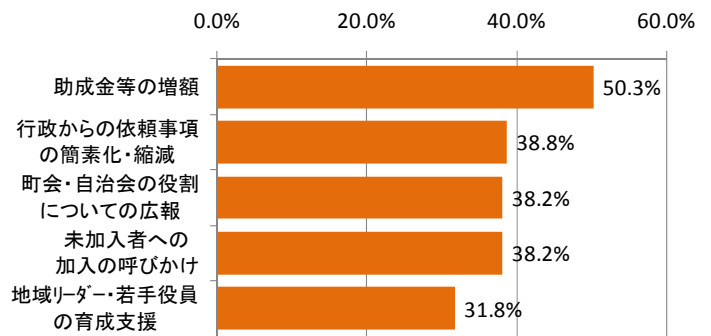
実際に町会・自治会等と協力しあって活動した経験がある団体は、3割強でした。協力しあって活動したきっかけは、NPOが自ら町会・自治会へ働きかけを行ったことがほとんどです。



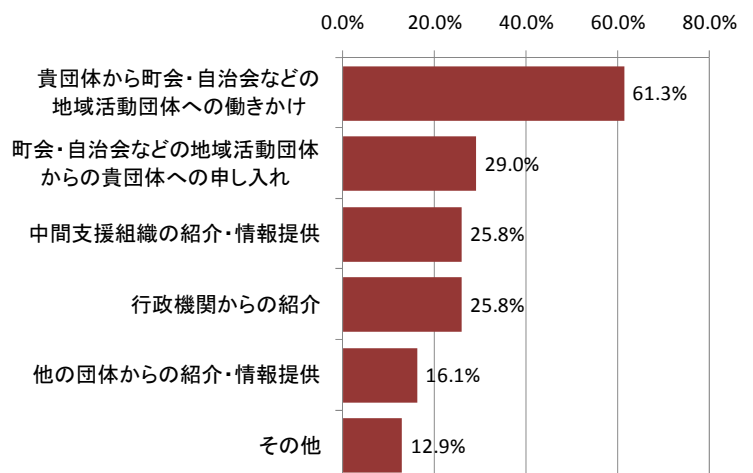
負担に感じる事業、力を入れる必要のある事業



区に求める支援

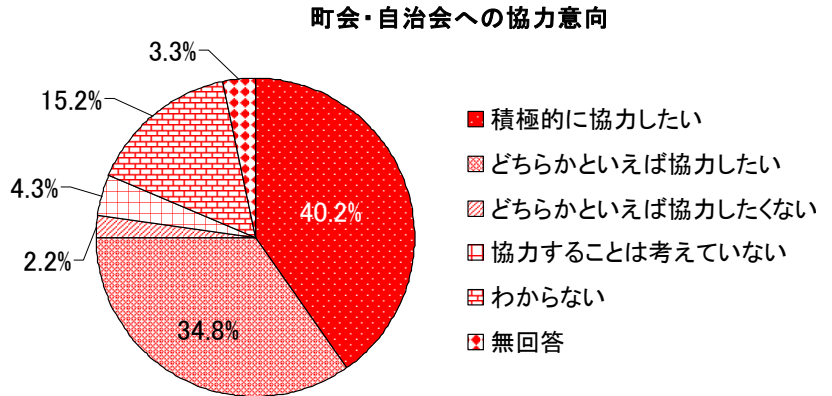


町会・自治会と協力して活動を実施したきっかけ



7割以上のNPO等が、町会・自治会からの要請があれば、地域の課題等の解決に協力をできる意向を示しています。

NPO等は、町会・自治会から地域の課題解決の協力を求められた場合、どちらかといえば協力したいと答えた組織を加えると、75%の組織が協力をしている意向を持っています。

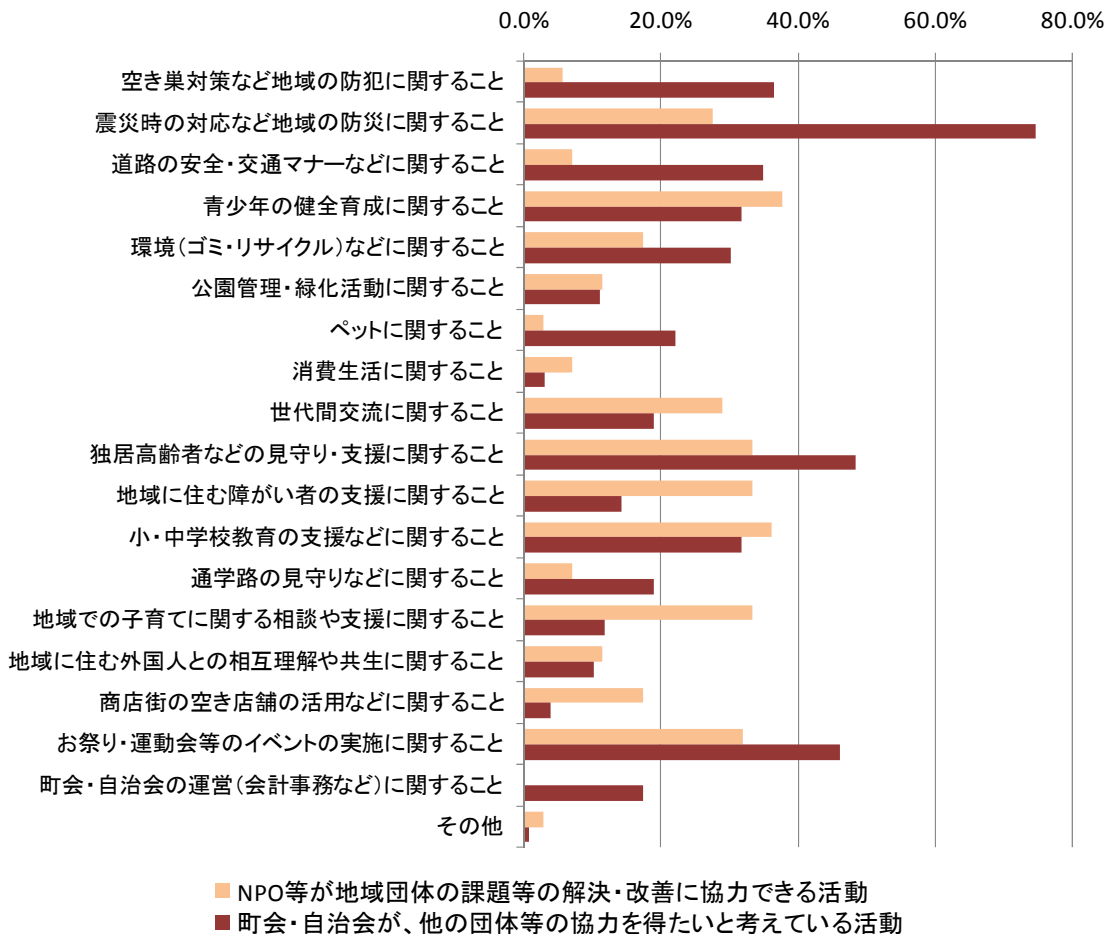


町会・自治会では、防災や高齢者の見守り活動を協力してほしいと思う一方で、NPO等では青少年育成、お祭り・イベントなどの活動に協力できることがわかりました。

町会・自治会が他の団体に協力してほしいと思う活動としては、「地域の防災に関すること」「高齢者の見守り」「お祭り・イベントの実施」などが多く挙げられました。

一方、NPO等が、町会・自治会などの地域団体に協力できる活動としては、「青少年育成」「お祭り・イベントの実施」などが多く挙げられました。

NPO等が協力できる活動と町会・自治会が協力してほしい活動の比較

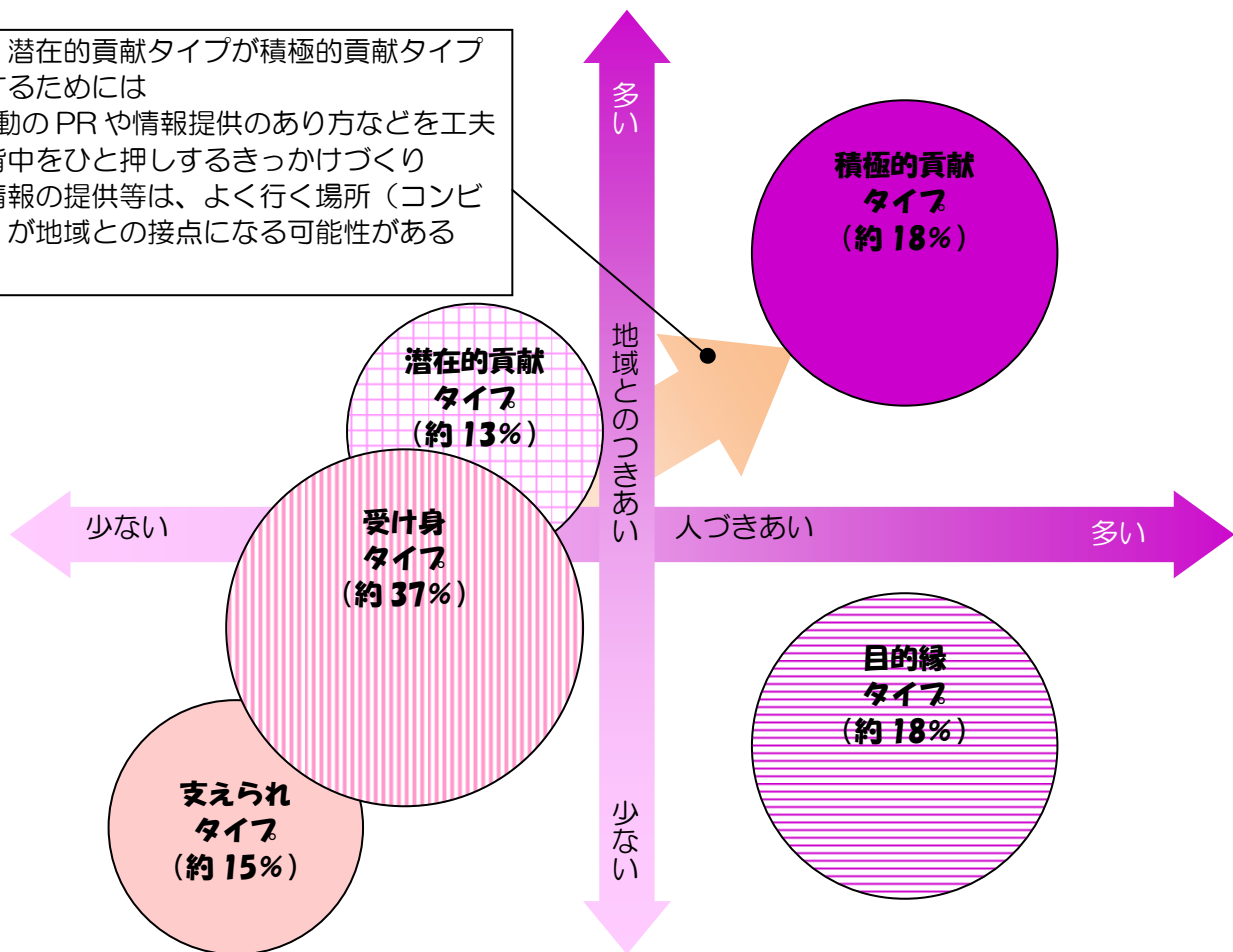


3. 人や地域とのつながりを踏まえた区民のタイプについて

区民アンケートから、人とのつながり方、地域活動やボランティアへの意識、普段の過ごし方などをもとに、区民をいくつかのタイプに分類すると、以下の図のようになります。望ましい姿としては、人づきあいが多く、地域に積極的に貢献するタイプが増えていくことです。

例えば、潜在的貢献タイプが積極的貢献タイプに移行するためには

- ・地域活動のPRや情報提供のあり方などを工夫し、背中をひと押しするきっかけづくり
- ・地域情報の提供等は、よく行く場所（コンビニ等）が地域との接点になる可能性があるなど



- 積極的貢献タイプ (約18%)**
 - ・子育てが一段落し、セカンドライフを楽しんでおり、趣味やスポーツなどに加え、地域活動にも積極的に参加するアクティブシニア
- 目的縁タイプ (約18%)**
 - ・人づきあいが比較的多く、特に趣味・学習・スポーツなどの目的で人とつながっている
 - ◎**有力な地域人材として育成するきっかけをつくる**
- 潜在的貢献タイプ (約13%)**
 - ・ひとり暮らしで、家族・親族とのコミュニケーションが薄く、近所づきあいも薄い
 - ・地域活動やボランティア活動に多少関心がある
 - ◎**イベントや講演会など、地域デビューのきっかけをつくる**
- 受け身タイプ (約37%)**
 - ・ファミリー層が中心で、平日は仕事、休日は家族対応など、地域活動に時間を割けない
 - ◎**短時間、家族ぐるみなど、活動内容に配慮したきっかけをつくる**
- 支えられタイプ (約15%)**
 - ・古くから足立区に暮らす高齢者が中心で、人や地域とのコミュニケーションがやや少ない
 - ◎**訪問やサロンなど地域との接点を持つきっかけをつくる**

4. 町会・自治会の取組事例

地域の様々な課題に対して、工夫を行って取り組んでいる先進事例について、ヒアリングを実施した主な結果を以下に紹介します。

青少年部の充実により、次世代の人材を育成

- ・子供たちの地域活動を行う青少年部を充実することにより、次の世代の人材が育っている。長者はあまり関わらず、若いお父さんやお母さんが自由に活動することが大切である。

タオルを掲げて、安否確認

- ・東京都の補助金（地域の底力再生事業助成）を活用して、月に1度、安否確認のために、家の外にタオルを掲げる活動を実施している。活動開始にあたっては、横浜元町の例を勉強した。

孤独死防止に向け、高齢者対策部を立ち上げ

- ・高齢者が多く居住していることに加え、孤独死が発生したこともあり、自治会の内部組織として、高齢者対策部を立ち上げた。また、ボランティアグループを作り、毎月1回のお困りごと相談、会費制のお食事会、趣味の会、NPOの協力によるコンサートなどを行っている。

さまざまな人の経験が自治会活動に活かせるよう「活動協力員」制度を検討中

- ・マンションの居住者には、様々な能力を持った方がいるので、そうした能力を自治会活動で発揮してもらおうべく、特定の活動に対して協力する「活動協力員」制度を検討中である。

新しい住宅ができると同時に、加入説明

- ・加入の勧誘は、新しい住宅ができると同時に、町会長や班長が説明に伺う形で行っている。

地域の有効な情報を掲載した防災冊子を作成・配布し、町会活動をPR

- ・町会の冊子として、区のハザードマップではわからない地域の詳細な地図や町会の行事などの有効な情報が掲載されている防災冊子を作成し、その中に町会の加入案内を入れて全世帯に配る予定であり、町会の活動をアピールしながら加入促進を行う。

マンション固有の課題解決のため、マンション自治会同士が連携

- ・リバーサイドに立つ4つの大きなマンションの自治会が集まって、防災・防犯、緊急時の避難対策など、マンション固有の地域課題について話し合う場を設けている。

5. まとめ

- ・区民は、「共助」や「地縁」の重要性を認識している。
- ・区民は、地域活動として「防災」や「高齢者見守り」の強化を期待している。
- ・区民は、背中をひと押しされること（タイプ別きっかけ）で、地域活動に参加する可能性がある。
- ・町会・自治会は活動の見える化を行うことにより、加入促進が期待できる。
- ・NPO等は、町会・自治会に協力の意向がある。
- ・NPO等は、「防災」や「高齢者見守り」に協力の意向がある。
- ・町会・自治会とNPO等との相互理解により、活動の相乗効果が期待できる。

※ 区は、こうした調査結果を踏まえ、町会・自治会やNPO等の活動を積極的に支援するとともに、今後は地域組織間の相互理解の仲立ちをすることで、地域のちからの向上を支え、暮らしやすいまち、住み続けたいまちの構築を目指す。

